



Weekly Report



ロータリーは分かちあいの心

佐世保北ロータリークラブ 2007～2008年度 RI 会長 / Wilfrid J. Wilkinson 地区ガバナー / 野口 清

会長/野畑義博 幹事/湯口純二 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数49名 出席 29名 欠席 13名 出席免除会員出席 10名 ビジター 3名 出席率 84.78%
 【前々回】会員数49名 出席 32名 メークアップ 4名 出席規定除外 13名 修正出席率 100.00%

《会長挨拶》

野畑義博 会長



皆様、こんにちは
 2週間ぶりの例会場になります。2月10日のIMはご苦労さまでした。実行委員会のメンバーを中心に会員全員参加で立派にやりとげたものと思います。

その後、他クラブの方と話しても殆んどおほめの言葉をいただきました。さて、これからは姉妹締結行事の準備と実行です。すでに実行委員会も2回開かれ着々と準備が進んでいます。こちらもIM同様 全員参加で立派にやりとげたいものです。

本日の卓話は台湾留学生の林 欣儀さんをお願いしています。台湾の紹介をされるようですが私も偶然 来週は台湾に行つてまいります。アカデミックな旅行で台湾大学を訪問したり阿里山の日の出、雲海を見るツアーです。何かおもしろい話でもあったら ぜひ披露したいと考えています。

.....

《幹事報告》湯口純二 幹事

1. 例会変更

・佐世保南RC

3月28日（金）12：30→18：30

米海軍佐世保基地内 ニミッツパーク（観桜例会）

2. 来 信

・ガバナー事務所

①地区大会記録誌作成について（お願い）

②地区米山奨学生の終了式及び歓送会開催のご案内

日 時：3月2日（日）11：00～12：00

終了式：12：00～14：00 歓送会

場 所：長崎 花月（長崎市丸山町2-1）

TEL 095-822-0191

・2740地区 米山記念奨学会

地区委員長 北郷雅子様より

07～08年度地区米山奨学生、終了式・歓送会次第

・佐世保中央RC

障害者優良雇用事業所及び 優良勤労障害者表彰式のご案内

日 時：3月13日（木）18：30～19：30

例会・食事：18：30～19：00

表彰式：19：00～19：30

場 所：セントラルホテル佐世保 アゼリアの間

・佐世保東南RC

第7回市内RC会長・幹事会のご案内

（富田ガバナー補佐宛）

日 時：3月5日（水）18：30～

場 所：里仙

・IM実行委員会

IM参加お礼

・佐世保工業高等専門学校

①日中相互交流評価委員会の資料送付について

②平成19年度卒業式及び終了式について（ご案内）

日 時：3月21日（金）午前10時00分 開式

場 所：佐世保工業高等専門学校 第二体育館

・佐世保日豪協会

平成19年度 会費納入について（お願い）

・伝達事項

①2/26（火）第8回理事・役員会を18：30よりセントラルホテルにて開催いたしますのでご出席をお願い

致します。

②2/28（木）第2回被選理事・役員会を18：30より
第一ホテルにて開催いたしますのでよろしくお願い
いたします。

《委員会報告》

棧 護 I M実行委員長

去る2月10日のIMでは実行委員会の皆さまを始め、当日
の準備や受付、接待等大変ご協力頂き、ありがとうございました。
各クラブの評判も上々のようで所期の目的
が果たせてホッとしています。報告書の作成がまだこ
れからですが、小西君ひきつづきよろしくお願い致します。

鳥越敏博会長エレクト

先日会長エレクト研修セミナーに参加致しました。
2008～2009年度RIテーマは「夢をかたちに」ということ
でした。鈴木泰彦ガバナーエレクト及び安部直樹パス
トガバナーから会長としての心得を学ぶことができました。

.....

《ゲスト卓話》

「台湾の紹介」

米山記念奨学生

長崎県立大学 経済学部 林 欣儀さん



台湾の情報

台湾は、台湾島
とその周辺諸島及
び金馬地区と東沙
諸島・南沙諸島か
ら構成されてお
り、面積は約
35,980km²と九州
程度（日本の約10

分の1）の大きさである。

台湾の地形

台湾最大の島である台湾島は、南北の最長距離が約
394km、東西の最長距離が約144kmで木の葉のような形
をしている。島の西部は平野、中央と東部は山地に大別
されるが、島をほぼ南北に縦走する5つの山脈（中央山
脈、竜山山脈、雪山山脈、阿里山山脈、海岸山脈）が島
の総面積の半分近くを占めており、耕作可能地は島の
約30%にすぎない。台湾最高峰の山は玉山山脈の玉山
（旧日本名：新高山、海拔3,952m）であり、富士山より
も高く、同様に標高3,000mを超える高山が多数連なっ
ている。

また、このほかの重要な地勢としては丘陵、台地、高
台、盆地などが挙げられる。なお、台湾はフィリピン海
プレートとユーラシアプレートの交差部に位置するた
め、日本と同様に地震活動が活発な地域である。また日
本と同じ火山帯に属し、温泉も豊富にある。

台湾の季節と気候

台湾のほぼ中央部（嘉義市付近）を北回帰線が通っ
ており、北部が亜熱帯、南部が熱帯に属している。そのた
め、北部は夏を除けば比較的気温が低いのに対し、南部

は冬を除けば気温が30度を超えることが多くなってい
る。

台湾の夏はおおよそ5月から9月までで、通常は蒸し暑
く、日中の気温は27度から35度まで上り、7月の平均気温
は28度である。冬は12月から2月までと期間が短く、気温
は総じて温暖であり、1月の平均気温は14度である。
ただし、山岳部の高標高地帯では積雪が観測されること
もある。

平均降雨量は年間およそ2,515mmであるが、降雨量は
季節、位置、標高によって大きく異なっている。台湾は
台風の襲来が多く、毎年平均3～4個の台風が襲われている。
台湾は台風で給水の大きな部分を賄っているが、同
時に損壊、洪水、土砂流などの災害も発生している。また、
台風以外にも、夏には台湾語「サイパッホー」（普通
は西北雨と表記、正しいのは夕暴雨）と呼ばれる猛烈
な夕立が多い。

台湾の自然

台湾は大きくないが、豊かな自然と文化に恵まれてい
ます。その自然は、地層プレートが絶えず動いており、
複雑で変化の多い地形となりました。高山、丘陵、平原、
盆地、離島、海岸などさまざまな景色を見させてくれます。
また北回帰線が通っているため、台湾では熱帯、亜熱帯、
温帯の生態を見ることができます。台湾固有種の割合が
とても高く、18,400種あまりの野生動物のうち20%以
上を占めています。サクラサケ、タイワンザル、タイワ
ンクロクマ、ハクカンなどが生息し世界的な保護地域の
一つです。

台湾の見所

美しい自然と生態を守るために、6つの国家指定公園
と11の国家指定の風景地域が設置され、そこに台湾で最
も美しい自然と景勝地が集中しています。タロコの切り
立った険しい高山峡谷を探訪し、世界三大登山鉄道のト
ロッコに乗って山間を抜け阿里山日出や雲海を見たり、
東北アジアの最高峰玉山を登山しその雄大な山並みや
四季の変化を眺望したり、「アジアのハワイ」と呼ばれ
る南台湾の墾丁では海辺でのバカンスが楽しめます。日
月潭は山間に輝く真珠のようであり、湖と山が絶妙にと
けあっています。花東海岸は、東台湾の最も純粋な自然
を残し、離島の金門などは、豊かな地方色や文化的な史
跡を残し独特の風情を見せてくれます。台湾はさまざま
な魅力にあふれています。

特に阿里山では元旦の日出を見に来る人が多いです。

玉山は台湾での一番高い山です。

墾丁は台湾の一番南部にあります。私の実家からすご
く近いです。夏になると多くの若者を集め、音楽祭も開
催されている。

日月潭では、毎年中秋の名月前後に、1983年より始めら
れた「万人遠泳大会」が行われる。総距離は約3000メー
トル。世界各国から参加者が集まり、2006年には21,942
人が参加し、初めて2万人を突破した。

台湾の言葉

台湾の言葉ですが、台湾語、中国語、客家語、先住民
族語など使われている（台湾では国語と言われる北京語
と台湾語が使われている（法律で定まった公用語はな
い）。台湾語は中国語の方言の一つ閩南語に日本語を

はじめとする外来語の単語が多く入り込んだ言葉で、南部では生活用語はほぼこの言語が使われている。ほかに、漢民族の少数グループである客家の使う客家語や先住諸民族の使う各民族語と彼らの高年齢層に共通語として使われている日本語が残存している。

かつての中華民国による行政区分は、台湾を2省（台湾省、福建省）、2直轄市（台北市、高雄市）に区分し、更に省内を5省轄市（基隆市、新竹市、台中市、嘉義市、台南市）、18県に区分していた。だが、1996年に福建省が、1998年に台湾省がそれぞれ行政機能を「凍結」（事実上の廃止）させられたため、今日では省轄市と県が直轄市に準ずる地位に格上げされて地方行政を担っている。

台北の夜景

台湾最大の都市は北部盆地に位置する台北市であり、1949年以降は中華民国の首都機能を果している。

台湾の主要都市

台湾の主要都市はたくさんある。地方の主要都市としては、台北市の東北部に港湾都市である基隆市と、台湾島南西部に工業・港湾都市である高雄市がそれぞれあり、両都市の間に新竹市、台中市、嘉義市、台南市などの主要都市が集中している。

高雄の夜景

こちらの映像は高雄の夜景である。こちらのビルは台湾で2番目高いビルです。主にホテルと会社の事務所に使われております。

日本と台湾の経済関係

台湾は日本と歴史的に関係が深く、地理的にも日本に近い上に親日派も多いことから、貿易関係などの経済的交流は強い。そのために、台北の台北国際金融センタービルは日本の熊谷組を中心とした共同企業体（JV）が施工している他、日本の新幹線の信号・車両技術を導入した台湾高速鉄道（台湾新幹線）も台北～高雄間に運行中である。また、ウナギの養殖をはじめ、食料品の対日輸出も多い。技術力、工業生産力を利用し、世界市場で優位に立てる製品を開発提供することによって、外貨を獲得する加工貿易が基本である。そして、台湾では有能な人ほど起業を志し、それが経済に活力と柔軟性を与えている。

台湾の食文化

次は食文化です。福建省や客家、中国各地の出身者、原住民など異なる民族からなり、多くの文化を合わせ持っています。宗教、建築、言語、民族習慣、食生活などでも融合しているのです。特に「食」は代表的なもので、台湾料理、客家料理、湖南料理、四川料理、日本料理、韓国料理、台湾の軽食、地方料理など実に多様で、「グルメ王国」台湾として世界的に有名です。

台湾の名所 総統府と愛河

日本統治時代の1919年に完成した建物で、台湾総督府として利用されていた。第二次世界大戦末期の米軍による空襲によって内部が全焼し中にいた職員の多くが死傷、建物も大きく破損した世界大戦終結後に中華民国政府が接収し、修復を行ったため1948年に旧態に戻った。現在、文化資産保存法により国定古蹟として登録されている。上空の写真では日本の「日」を現す形に建てられている。平日の午前9時から12時までは無料で内部見学が可能であり、日本語ガイ

ドが案内してくれる。日本統治時代からのことをパネルで展示してある。

台湾新幹線の構内

台北市から高雄市までの345kmを最高速度300km/h、ノンストップで所要時間90分で結ぶ計画である。同区間は、最速の在来線特急自強号で所要時間3時間59分を要していた。総事業費は4,806億台湾ドル（約1兆8千億円）。日本として新幹線の車両技術を輸出・現地導入した初めての事例である。

新幹線の入り口と車内

車両など日本の新幹線技術（JR東海・JR西日本共同）を投入したため、日本のみならず台湾においても「台湾新幹線」と呼ばれることもあるが、システムは一部異なる。しかし、一般利用者にとって最大の接点である車両自体が700系の改良型となる700T型であるため「新幹線」と見なすこともできる。

台湾の高速道路

高速道路には基隆・台北と高雄を結ぶ中山高速公路と、フオルモサ高速公路の二本があり、更には主要国道・省道が台湾全土に張り巡らされている。そのことから、数多くのバス会社が高速バスを走らせており、大都市間を結んでいる。次は台湾の民俗習慣について、紹介しようと思っています。

台湾の民俗習慣

台湾は中国と同じ、新年は旧暦新年で過ごす。この世界の至る所でクリエイティブな事がなされているけれど、お正月だって例外ではない。臘八から正月の十五日までの民俗を紹介しようと思います。由緒ある年越しが時代遅れじゃなくて、旧正月にも面白い新発見がある事に気づく。旧暦の12月是一年の最後の月であり、古代の人々はこの12月を臘月と呼んだ。12月8日の“臘八節”（ラバージェ）は元々仏教の祭日で釈迦が悟りを開いた成道の日を記念して、仏教寺ではみなこの日に五味粥を作り、お寺でもこのお粥が信者に配られる。これに習い、民間でもこの「臘八粥」（ラバージョウ）を作って食べるようになり、「臘八粥」を食べたら、いよいよ正月準備に入る。この「臘八粥」（ラバージョウ）は日本の「七草粥」に似ている。古人が「臘八粥」を作るときは、「年々有余」の意味を込めて、必ず大きな鍋で煮た。そのため、豊富な食材が使われるのが臘八粥」の大きな特徴である。臘八粥は、なつめ、クルミ、栗、葡萄、米、精米、あわ、高粱等約20種類の材料で作ったお粥だ。臘八から、正月まで、あと約3週間、お正月の準備や仕込みも始めなければならないので、体に十分な栄養を与えて、元気で新年を迎えられますよという意味が込められている。

大晦日

旧暦の中で、12月30日までです。12月30日の大晦日は正月行事の中で、最も重要な日だ。この年越しの日に行われる事は沢山ある。先祖と神様に一年のご加護に感謝をする「辞年」から始まり、赤色の紙に文字が書かれた飾り「春聯」を張り、お年玉を配り、家族全員で一緒に夜更かしをして新年を迎える「守歳」をしたりと、すべてその日の内に終わらせなければならない。中でも、除夜の一家団欒での晩餐はメインイベントだ。一家団欒で家族の温もりは家に留めるの意味も含まれている。

元旦

正月の元旦は新年の始まりで、最も熱狂的なイベントである初詣は、お寺に行き、「僧頭香」である。その意味は、子（ね）の刻、新年を迎え寺院の扉が開かれるや否や、一番乗りして線香（せんこう）を早く供える（そなえる）競争に勝てば、その一年、神からのご加護が最も多く得られると言うものらしい。

そのため、お寺の扉がまだ開かぬ除夜より、台湾各地の著名なお寺の門前は溢れんばかりの参拝（さんばい）客が、まるで100メートル競走に参戦するかのように線香を手に今か今かと子の刻の開門を待ち、人ごみを掻き分け線香釜（かま）へとゴールし一番にお線香を立てる競争をする。

五日は仕事の初め

正月五日は、台湾の民間企業の仕事初めの日で、経営者が選んだこの日の吉時に、会社や店の前で三牲四果（牛以外の家畜三種、及びグアバとトマト以外の果物四種類）をお供え物として置き、線香を焚いて神々に財運と平安を祈る儀式が行われる。仕事初めの儀式に参列する従業員に対し、正月気分を抜き心を引き締め翌日からの仕事に臨むよう、経営者は気前良くお年玉を配る。

十五元宵の夜一爆竹祭で幸福を祈り

本当の意味で旧正月の終止符（しゅうしふ）を飾るのが、この正月十五日の元宵の夜。元宵は春節を締めくくるところある民俗活動だ。近年、台湾各地で開催される超大型の十二干支（えと）をかたどった山車、ライトアップされた通り、伝統民俗芸展と言ったランタンフェスティバルは、台湾全国に広く知れ渡り、台湾最大規模の元宵活動のひとつとなっている。

《ニコニコBOX》 是永典彦 親睦活動委員

佐世保RC 森 信正君

本日の卓話ではお世話になります。林さんのカウンセラーの森です。ロータリーの友今月号の表紙の長崎ランタンフェスティバルの写真は、125点の中から選ばれました。私の写真です。よろしく！

野畑義博会長 田島勝明副会長 湯口純二幹事

2月10日に開催しましたIMは全会員のご協力により、無事終了する事ができ、感謝申し上げます。周辺ロータリークラブの評価も ますます好評のようです。次の行事は、4月に仁川仁州（インチョンインジュ）ロータリーの皆様が、姉妹クラブ再締結の為、多数来訪されます。引き続きご協力よろしくお願いします。本日は米山奨学生、林欣儀（リン キンギ）さんの卓話です。林さんを囲んで国際交流を深めましょう。

棧 護君 富田耕司君

久しぶりのホームグラウンドです。IMでは、みなさまには大変ご協力頂き感謝申し上げます。各クラブの評判も上々のようです。ありがとうございました。本日の卓話、米山奨学生、林 欣儀さん、よろしくお願ひします。ワクワクして聞きます。森カウンセラー先生、お疲れさまです。

村上寅雄君

山口、九州大茶会が16日17日の2日間で950名の参加を頂き、大宰府茶道会館で席主としてつとめさせてもらいまして大成功でした。小西さん大変お疲れさまでした。有難うございました。

小西宗十君

村上先生、去る16日、17日の大宰府九州茶道館における松永耳庵翁展示記念大茶会のご成功、おめでとうございました。21席すべての席で席主をつとめられ九州一円に長崎茶人の名を高められました。お手伝いした私どもも大変名誉なことでした。11日建国記念日に八幡神社において表千家を代表し献茶を奉仕しました。一生に一度のことですからニコニコです。

鳥越敏博君

先日アルカスで行われました「会長エレクト研修セミナー、ペッツ」に参加して、1日まじめに会長としての心得を勉強してまいりました。2740地区の米山担当として副幹事を担当される中島閏二さん、1年間大変とは思いますが、がんばって下さい。

永田武義君

林さん、ようこそいらっしゃいました。今日を楽しみにしていました。どうぞよろしくお願ひします。先日2月18日大村の海上自衛隊第22航空群で開催された職場訪問は天候に恵まれ、すばらしい例会になりました。会員のみなさまのご協力に感謝します。

松尾辰二郎君

米山留学生、林 欣儀さんの来訪を歓迎いたしますと共に卓話楽しみに聞かせて頂きます。

宮地正博君

野畑会長、記念のお花をありがとうございました。冷たい家庭が明るくなりました。

井上雅弘君

野畑会長、緒方国際交流委員長、2月28日の「日中相互交流評価委員会」をよろしくお願いいたします。林さんの卓話を楽しみにしています。

豊島揆一君 福田俊郎君 鈴木正昭君 柴田隆司君
是永典彦君 藤井良介君 中山 誠君 峯 徳秀君
須田 昇君 二ノ宮 健君 深堀昌二郎君
中野雄一郎君

久しぶりの例会場で安心してます。本日の卓話、林様のお話し楽しみにしております。米山奨学生のお世話されます佐世RCの森様、ごくろうさまです。

森 豊君

オレンジ通信95号発行いたしました。ご笑読下さい。

本日の合計 39,000円 累計 1,009,000円

クラブ会報委員会 委員長 / 二ノ宮 健 委員 / 平石晃一 日高省三 中島閏二 相良一三 （記事担当者 相良一三）